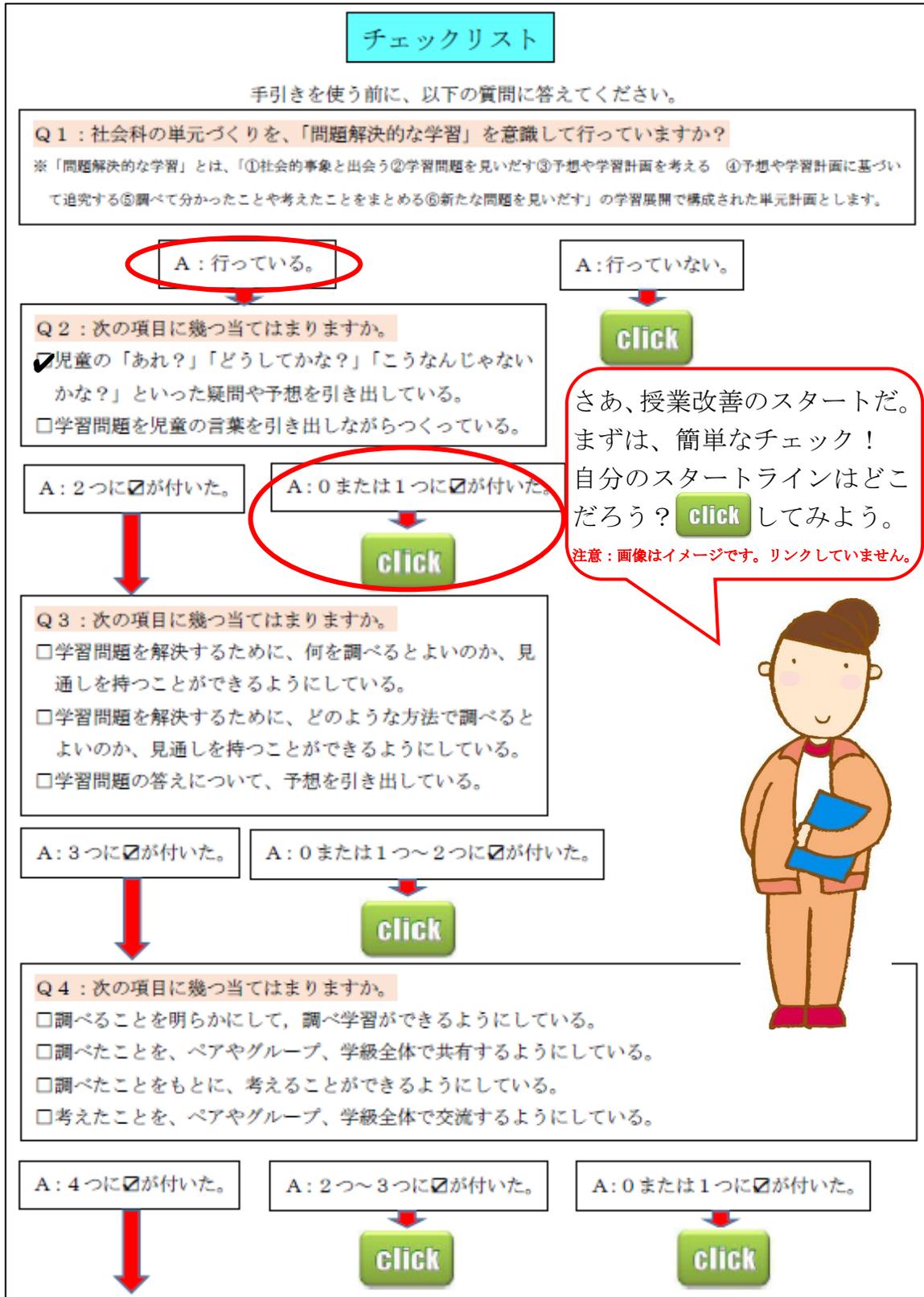


2 (3) 授業の質的改善のプロセス

ア B校 (第4学年) の実践

(7) 手引きを活用した質的改善の実際

2 (2) 授業の見直しと質的改善を図るための手立てに沿って、実際に授業の質的改善を図った B校 第4学年の実践を紹介します。資料 1 (授業の質的改善のプロセス②-1~②-3) は、B校の質的改善の実際 (一部) を示しています。



指示された「手引き」のページ



手順1【児童の実態を資質・能力の面から捉える。】

子供たちは、できていますか。□内の項目にチェック回してみましよう。☑が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましよう。

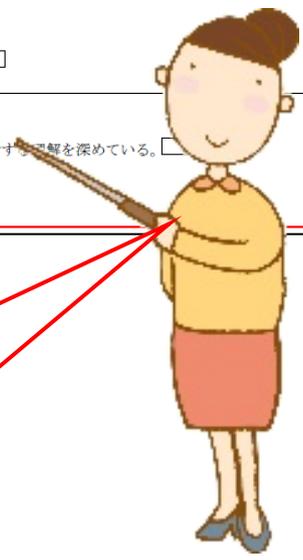
過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて(つなげて)、記述することができる。□ ⇒C⑨⑩へ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して(まとめて)、記述することができる。□ ⇒C⑩、D①へ					
技能 (収集する読み取るまとめる)	(1) 学習問題や本時のめあてを解決するために必要な資料を集めることができる。□ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨へ (2) その資料がどのような資料か分かっている。☑ ⇒C④⑤⑥⑦へ (3) 事実を正確に読み取っている。□ ⇒C④⑤⑥⑦へ (4) 学習問題や本時のめあてを解決するために有用な情報を選んで読み取っている。□ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨へ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。□ ⇒C④⑤⑥⑦へ					
思考力、 判断力、 表現力等	(1) 資料を基に気付きを持つことができる。☑ ⇒A①②へ (2) 資料を基に疑問を持つことができる。☑ ⇒A①②③へ (3) 気付きや疑問を調べる観点ごとにグループ分けをすることができる。□ ⇒A④⑤へ (4) 気付きや疑問から、キーワード(問い)をつくることことができる。□ ⇒A④⑤⑥へ (5) キーワード(問い)を関連付けて、大きな問いをつくることことができる。□ ⇒A⑦⑧⑨へ	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。□ ⇒A⑤⑥へ (2) 疑問に対して、予想を考えることができる。□ ⇒A⑤⑥へ (3) 自分が調べたいことを考えることができる。□ ⇒B①へ (4) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。□ ⇒B②③④へ	(1) 学習問題や本時のめあて(課題)の解決のために、調べた事実を基に、自分の考えを持つことができる。□ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ (2) 本時で分かったことから、新たに調べたいことを考えることができる。□ ⇒C①②③④⑤へ (3) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。□ ⇒C①②へ	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。□ ⇒D①②③へ (2) 解決に必要な情報を判断し、それらを基に自分の考えを表現することができる。□ ⇒C①②、D①②③へ (3) 解決に必要な情報を明確にして、意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒D①②③④⑤へ (4) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒D③⑥へ	(1) これまでに学習したことを基に、自分の考えを持つことができる。□ ⇒E①②③④へ (2) 友達の考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒D④⑤⑥⑦へ (3) 話し合っで出た意見を総合して、意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒E①②③④へ	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。□ ⇒E④へ (2) 新たな課題を考えることができる。□ ⇒F①へ (3) 学習した内容を、自分達の生活と関連付けて、考えることができる。□ ⇒F②③④へ
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しを持っている。□ ⇒B①②、C①②③へ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているか理解している。□ ⇒C①②③④へ (1) 社会的事象について、実感や切実感を持って調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。□ ⇒A①②③⑦⑧⑨、F①②③④へ (2) 社会的事象について自分達の生活と照らし合わせて考えることができる。□ ⇒A①、F②③④へ (3) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。□ ⇒F②③④へ					

授業の質的改善を図るための手引き(手順1)

手順2【児童の実態を「主体的・対話的で深い学び」の3つの視点から捉える。】

子供たちの様子はどうか。□内の項目にチェック回してみましよう。☑が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましよう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
「主体的・対話的で深い学び」の視点から捉えた児童の姿	<input type="checkbox"/> 社会的な事象に興味や関心を持っている。☑ ⇒A①②⑤⑥⑦⑧⑨、F①②③④ <input type="checkbox"/> 目的意識を持って追究活動を行っている。□ ⇒A⑦⑧⑨、B①②③④、C①②③④⑤⑥、D④へ <input type="checkbox"/> 自らの学習を振り返り、次の学習につなげている。□ ⇒C①⑩、D⑩、E④、F①へ					
	<input type="checkbox"/> 個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、新たな考えに気付いている。□ ⇒A⑥、C⑧⑨、D④⑤⑥、F②へ <input type="checkbox"/> 個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えを広げている。□ ⇒A⑥、C⑧⑨、D④⑤⑥、F②へ <input type="checkbox"/> 個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えをより妥当性のあるものになっている。□ ⇒C①、D③、D⑩、F③へ					
	<input type="checkbox"/> 社会的な事象についての見方・考え方をを用いて、社会的な事象の中から自ら問いを見いだしている。□ ⇒A⑤⑥、B①、C①④へ <input type="checkbox"/> 社会的な事象についての見方・考え方をを用いて、調べたことを関連付け(つなげ)たり、総合し(まとめ)たりして考え、社会的な事象に対する理解を深めている。□ ⇒C⑩⑩、D①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑩、E①②③④へ <input type="checkbox"/> 社会的な事象についての見方・考え方をを用いて、様々な社会的な事象の意味や特色について考えている。□ ⇒D⑤⑥⑦⑧⑨へ					
	(1) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。□ ⇒C⑥、D③④⑤⑥へ (2) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。□ ⇒C⑥、D④⑤⑥へ (3) 様々な立場ごとのメリット・デメリットを総合的に考えて、社会的な事象の意味について考えることができる。□ ⇒C⑥、D①④⑤⑥へ (4) 実現可能性を踏まえた上で、課題の解決策を考えることができる。□ ⇒D④⑤⑥へ					



社会的な事象に興味は持っているけれど、実感や切実感を持って学習問題を調べようという姿があまり見られないわ。
A①②③⑦⑧⑨を見てみよう。



手順3 【日々の教師の授業を振り返る。】

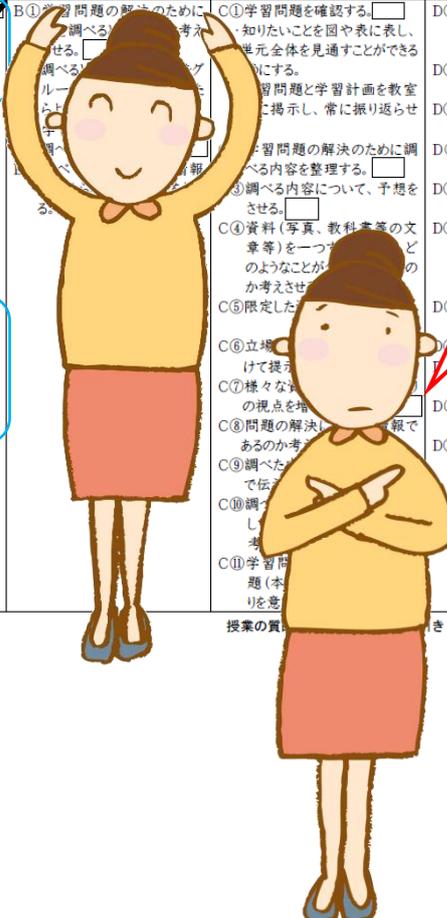
手順4 【授業で取り入れる手立て、または意識することを考える。】

先生は、手順1・手順2で示した手立てを取り入れたり、意識して行っていますか。チェック回してみましよう。☑が付かない場合は、授業に取り入れてみましょう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> ●学習問題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象等を知る。 ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する。 ・学習問題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決の見通しを持つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説を立てる。 ・調査方法、追究方法を吟味する。 ・学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●予想や仮説の検証に当たる。 ・学校外での観察や調査で調べる。 ・様々な種類の資料を活用する。 ・他の児童生徒と情報を 			
主眼的・対話的で深い学びの視点から捉えたポイント	○児童に気付きや疑問を持たせてから、学習問題を設定する。	○設定した学習問題を基に、学習計画を考えさせる。	○追究活動の中で、のめあて(学び)を明確			
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。☑ A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。☐ A③題材に対して気付きや疑問を持たせる。☐ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間(キーワード)分けて板書する。☐ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。☐ A⑥自分の考えを持ちやすい場面(予想など)で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。☐ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。☑ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。☐ A⑨個別に持った学習問題を全体で交流し、学級の学習問題を設定する。☐	B①学習問題の解決のために調べる。☐ B②学習問題と学習計画を教室に掲示し、常に振り返らせる。☐ B③学習問題の解決のために調べられる内容について、予想を出させる。☐ B④資料(写真、教科書等の文章等)を一つ一つよく見るときの様子や考えさせさせる。☐ B⑤限定した資料を調べる。☐ B⑥立場を変えて捉え、調べる。☐ B⑦様々な視点から調べる。☐ B⑧問題の解決に役立つ情報があるのか調べる。☐ B⑨調べた内容を伝える。☐ B⑩調べた内容をまとめる。☐ B⑪学習問題(本)を意	C①学習問題を確認する。☐ C②知りたいことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるように整理する。☐ C③学習問題と学習計画を教室に掲示し、常に振り返らせる。☐ C④資料(写真、教科書等の文章等)を一つ一つよく見るときの様子や考えさせさせる。☐ C⑤限定した資料を調べる。☐ C⑥立場を変えて捉え、調べる。☐ C⑦様々な視点から調べる。☐ C⑧問題の解決に役立つ情報があるのか調べる。☐ C⑨調べた内容を伝える。☐ C⑩調べた内容をまとめる。☐ C⑪学習問題(本)を意	D①事実を調べさせ、自分の考えを問う発問を調べる。☐ D②調べた内容を整理する。☐ D③根拠と自分の考えを調べる。☐ D④話し合いをする。☐ D⑤話し合いをする。☐ D⑥自分の考えを調べる。☐ D⑦調べた内容を整理する。☐ D⑧調べた内容を整理する。☐ D⑨調べた内容を整理する。☐ D⑩調べた内容を整理する。☐ D⑪調べた内容を整理する。☐		

身近な資料を見せて、児童が興味を持つように心掛けているわ。

資料を見せて、気付きや疑問を持たせるような手だてをもっと工夫してみよう。そして、学習問題を子供たちと一緒につくってみよう。

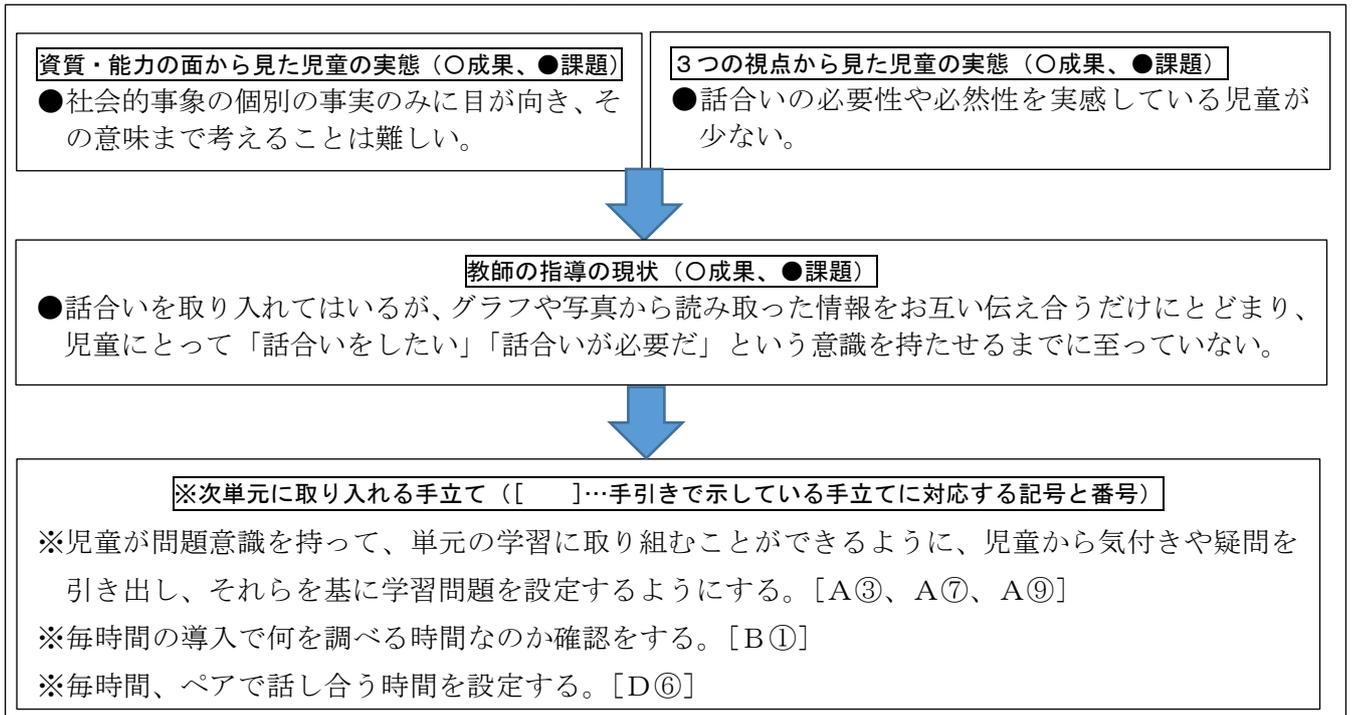


資料1 B校の質的改善の実際(一部)

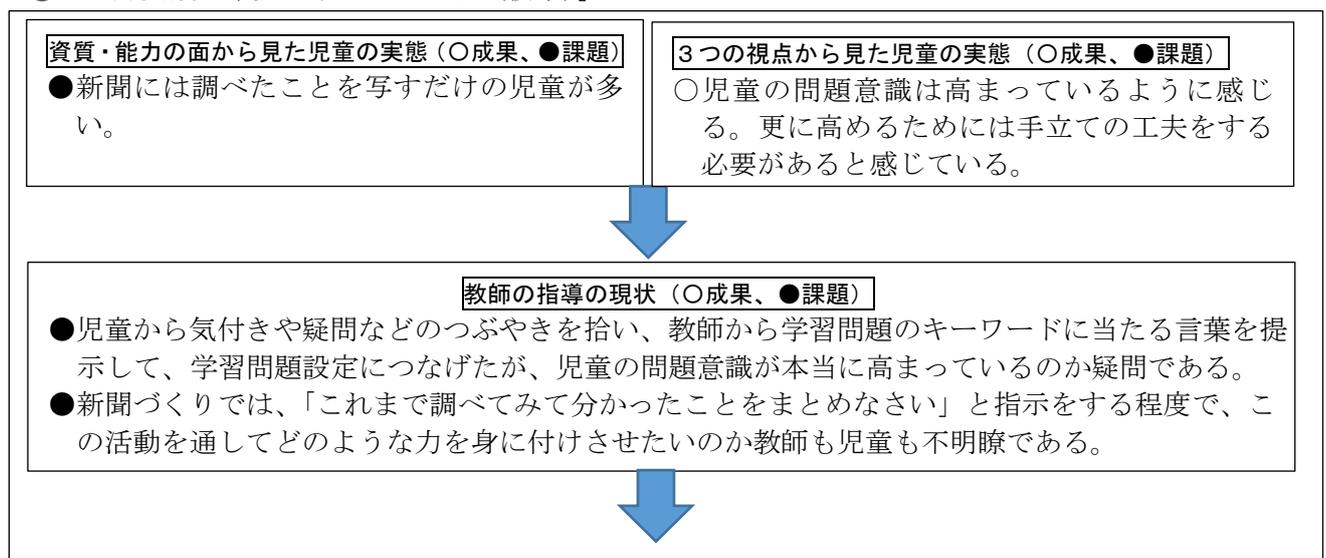
(4) 質的改善の推移

前頁資料 1 で示すように、B校第 4 学年においては、手引きに沿った考え方に沿って、児童の実態を「育成すべき資質・能力」の視点（手順 1）と「主体的・対話的で深い学び」の視点（手順 2）から捉え、教師の指導の現状を振り返りました（手順 3）。その後、指導をどのように改善していくのかを考えました（手順 4）。B校第 4 学年では、6 月から 12 月まで単元毎に同様の手順を踏みながら、授業の質的改善を図っていきました。以下の①～⑧は、質的改善の推移を「授業の見直しと質的改善を図るための手立て-1」図 1 に合わせ整理したものです。

① 6 月実践 単元「水はどこから（前半）」



② 7 月実践 単元「水はどこから（後半）」



※次単元に取り入れる手立て（[]…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

※児童から気付きや疑問を引き出し、それらを基にキーワードを見いださせ、学習問題を設定する。[A⑧]

※毎時間、学習の初めに何を調べる時間か確認し、調べる内容を考えさせる。[B①]

※単元の最後に予定している新聞作りで、単元を通して調べたことを書くだけでなく、キーワードを使って考えさせ作成させるようにする。[E②]

③ 7月～9月実践 単元「ごみの処理とその利用」

資質・能力の面から見た児童の実態（○成果、●課題）

○「ごみ処理の工夫」と「自分たちの生活とのつながり」という観点を提示したことで、約8割の児童が調べたことを写すだけでなく、調べたり考えたりしたことを関係付けながら新聞にまとめることができた。

3つの視点から見た児童の実態（○成果、●課題）

○自分で考えた質問なので、清掃工場見学では意欲的に質問をする姿を見ることができた。

教師の指導の現状（○成果、●課題）

- 質問事項を個人で考えさせたことで、児童が主体的に見学を行うことにつながった。質問事項が学習問題とどのようにつながっているのかを考えさせることが今後必要だと感じている。
- 新聞づくりでは、調べた事実同士を関連付けて記述することができるように、調べた内容で関係がありそうなものを線で結ばせたので、調べたり考えたりしたことを関連付けて考えることにつながった。

※次単元に取り入れる手立て（[]…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

※学習問題を設定するときに、児童の気付きに対し、問い返しをしながら、「調べてみたい」と思わせるようにする。[A⑤]

※毎時間、授業最後の振り返りの場面で、学習問題について記述する時間を取る。[C⑪]

④ 9月実践「ごみの処理とその利用」

資質・能力の面から見た児童の実態（○成果、●課題）

●学習問題についての児童の記述を読むと、1時間ごとのめあてについて記述したものがほとんどで、これまで獲得した知識を相互に関連付けて記述したものはほぼなかった。

3つの視点から見た児童の実態（○成果、●課題）

●課題追究の過程において、学習問題を意識できていない児童がいる。

教師の指導の現状（○成果、●課題）

- 学習問題を設定するときに、児童の気付きに対し、問い返しをしながら、「調べてみたい」と思わせるようにしていったが、更に問題意識を高めさせるためには工夫が必要である。
- 毎時間、授業最後の振り返りの場面で、学習問題について記述する時間をとったが、単元を通して調べたり考えたりしたことを記述させるためには工夫が必要である。



※次単元に取り入れる手立て（[]…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

- ※提示する資料は、児童にとって身近なものを取り入れる。[A①]
- ※資料の一部を隠して提示するなど、提示の仕方に工夫を行う。[A②]
- ※予想を促すなど、発問の工夫を通して、疑問を持たせる。[A③]
- ※追究過程で調べることをキーワードとして、学習問題設定につなげ、児童に単元を通して調べる内容を把握させる。[A④]
- ※毎時間、学習問題についての記述を行わせる際に、学習課題（本時のめあて）とのつながりに気付かせる。[C⑩]
- ※新聞作成の際に、視点を与える。また、新聞作成を通じて、児童が「比較・関連・総合」などの思考方法を用いることができるような条件を与える。[E②]



⑤10月実践 単元「郷土の発展に尽くす」

授業の質的改善を図った単元の実際はこちらから⇒ [click](#) 授業の実際はこちらから⇒ [click](#)



⑥10月実践 単元「郷土の発展に尽くす」

<p>資質・能力の面から見た児童の実態（○成果、●課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から気付きや疑問を持ち、調べていきたいことを学習問題として設定することに慣れてきた。 ●課題解決に向けて資料から必要な情報を読み取るのが難しい児童が数名いる。 	<p>3つの視点から見た児童の実態（○成果、●課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から気付きや疑問を持ち、調べていきたいことを友達と積極的に交流している。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



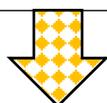
教師の指導の現状（○成果、●課題）

- 児童から、気付きや疑問を引き出して設定した学習問題だったので、「自分たちでつくった学習問題」という意識が継続し、単元を通して学習問題を意識して学んでいたように思う。
- 学習問題設定の際に、資料から適切な情報を読み取り、課題解決に結び付けて考えさせるには更なる工夫が必要である。
- 課題解決の場面で学習問題についての考えを記述させる際に、キーワードを使ってまとめさせているが、更なる工夫が必要である。

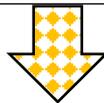
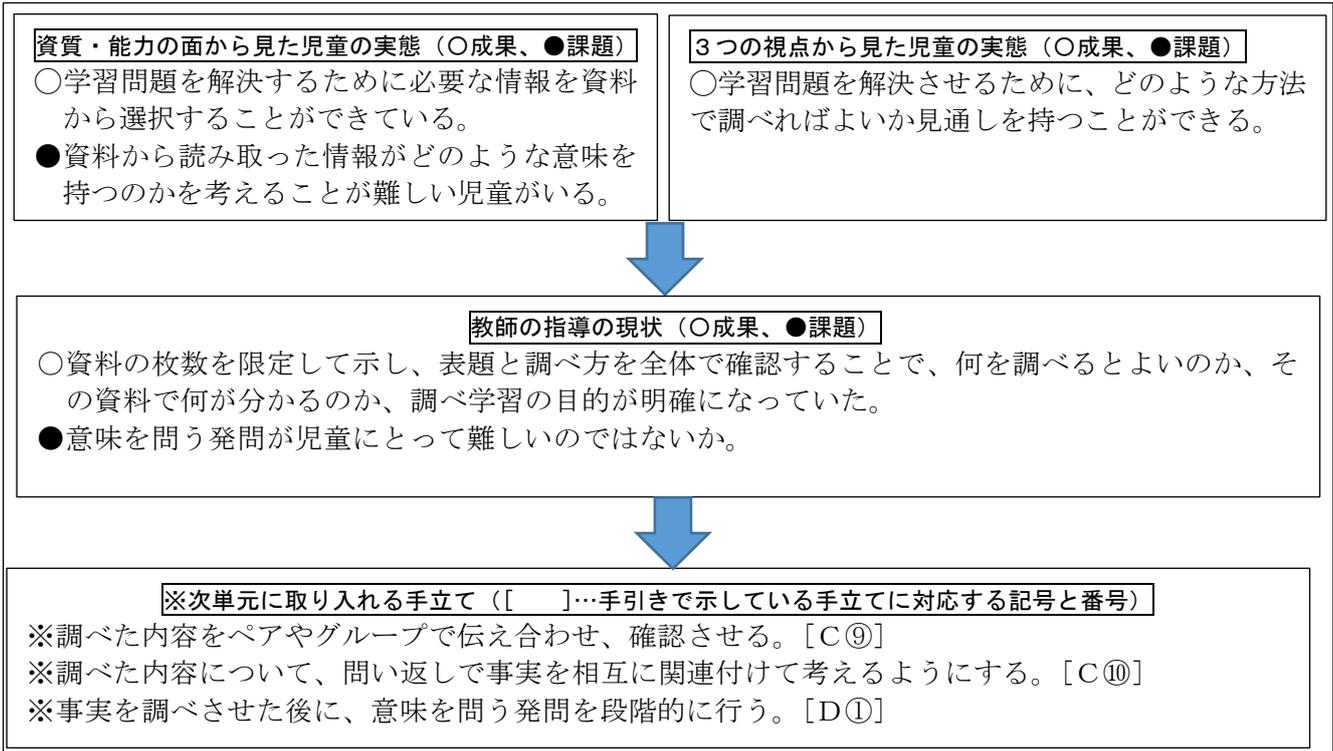


※次単元に取り入れる手立て（[]…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

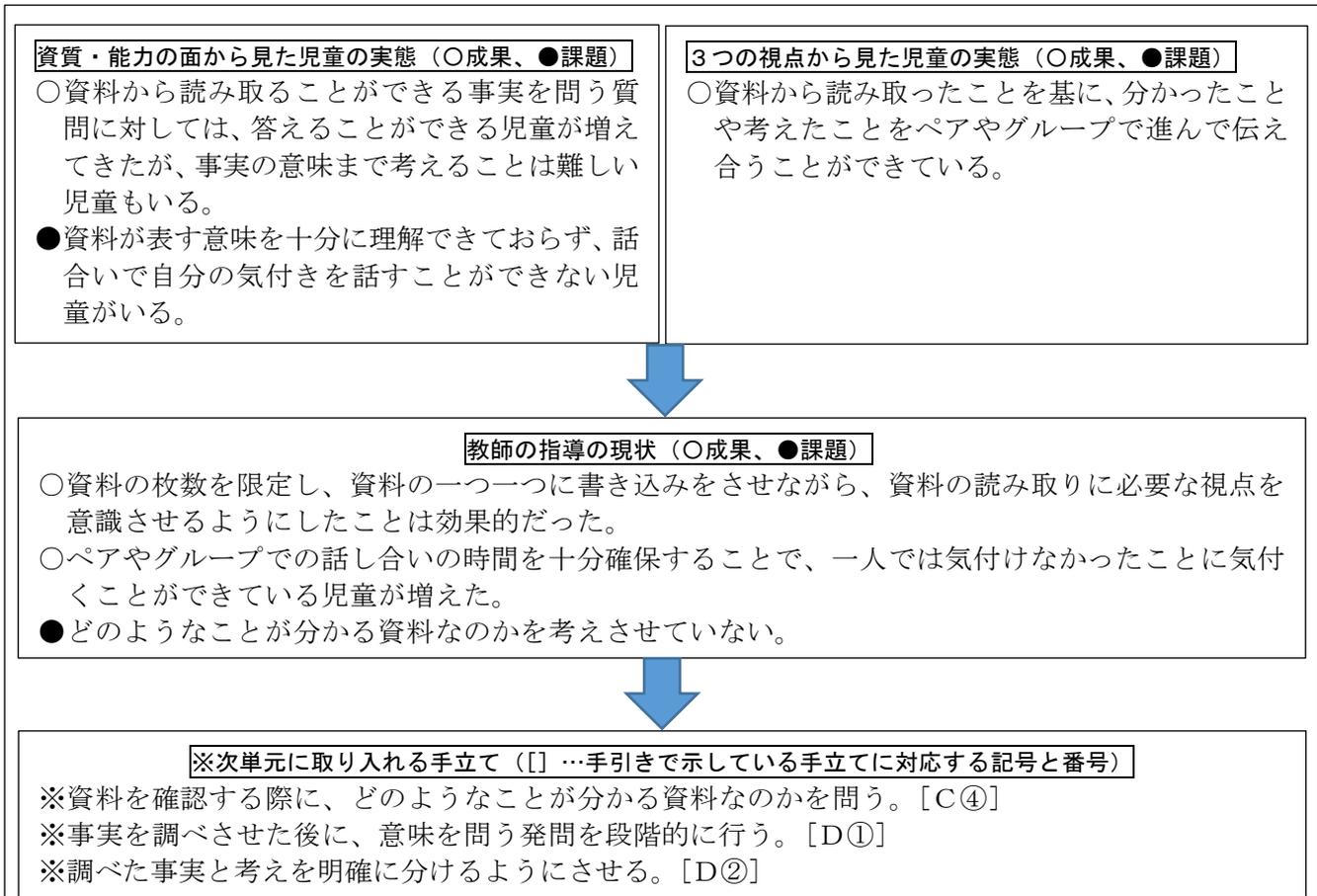
- ※学習問題解決のために調べる内容を整理させる。[C②]
- ※調べる内容について、予想をさせる。[C③]
- ※資料の表題や見方などを確認し、どのようなことが分かる資料なのかを考えさせる。[C④]
- ※限定した資料を提示する。[C⑤]
- ※まとめ方を例示し、評価の視点を示す。[E①、E③]



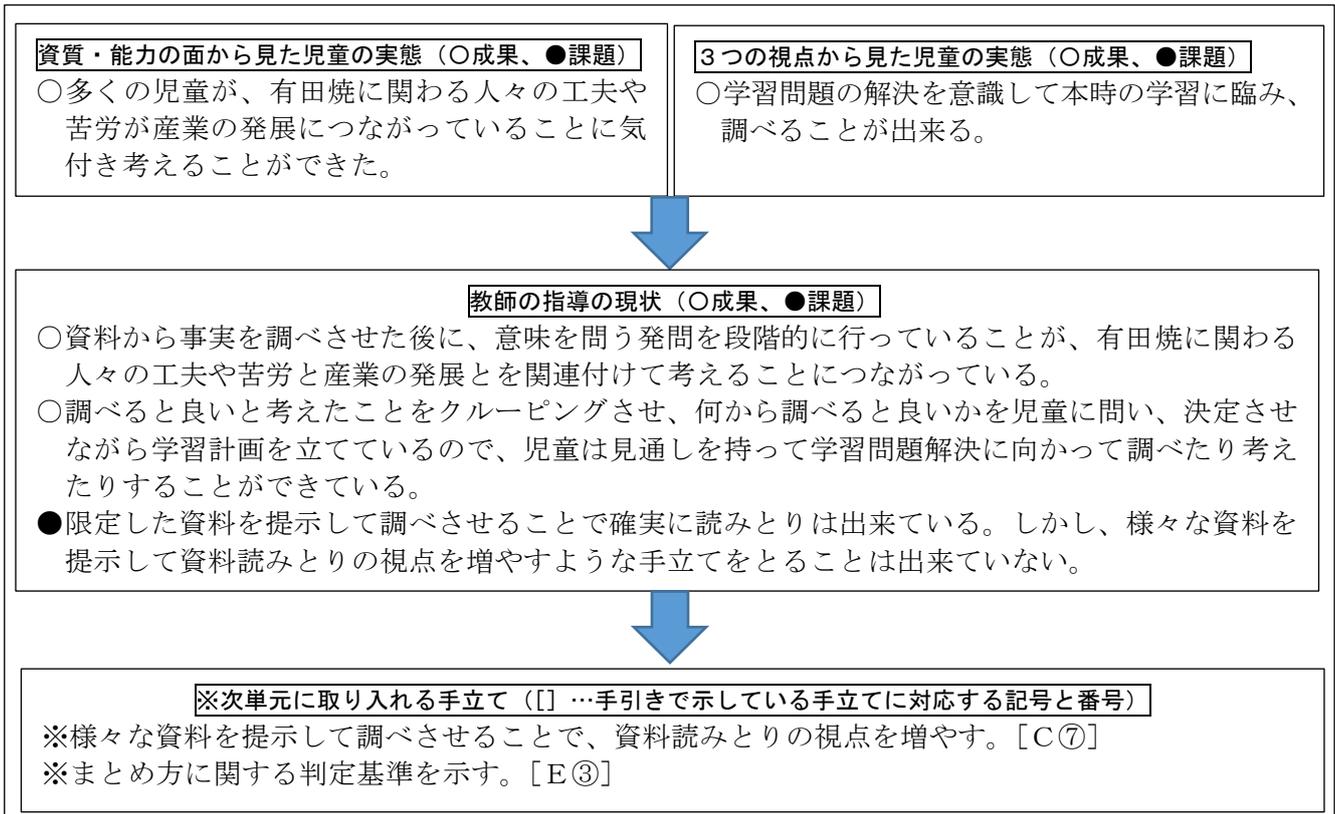
⑦11月実践 単元「わたしたちの佐賀県の様子」



⑧12月実践 単元「わたしたちの佐賀県の様子」



⑨ 1 月実践 単元「特色のある地域と人々の暮らし（有田焼）」



⑩ 2 月実践 単元「特色のある地域と人々の暮らし（有明海）」

